

## 京都大学防災研究所 令和2年度共同研究報告

平成8年度より、全国共同利用研究所として共同研究を実施している。平成22年度からは「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として新たな枠組みで共同研究課題の募集を行った。応募があった研究課題は、共同利用・共同研究拠点委員会で公正な審査のうえ採択が決定される。令和2年度の各種目についての応募件数、採択件数及び共同研究費は次の表のとおりである。

	応募 件数	採択 件数	共同研究費 合計 (千円)
一般共同研究（継続課題）	-	9	9,868
一般共同研究（令和2年度-令和3年度）	25	10	10,600
国際共同研究（継続課題）	-	5	8,285
国際共同研究（令和2年度-令和3年度）	10	4	6,968
一般研究集会	15	10	5,255
長期滞在型共同研究	12	4	4,208
短期滞在型共同研究	2	2	497
地域防災実践型共同研究（一般）（継続課題）	-	2	1,909
地域防災実践型共同研究（一般）（令和2年度-令和3年度）	5	2	2,409
地域防災実践型共同研究（特定）	1	1	3,724
萌芽的共同研究	4	4	1,083
重点推進型共同研究	2	2	3,150
拠点研究（一般推進研究）	10	6	16,476
拠点研究（特別推進研究）	0	0	0
特定研究集会	7	4	2,353

以下の報告は、令和2年度に実施された一般共同研究19件、国際共同研究9件、一般研究集会10件、長期滞在型共同研究4件、短期滞在型共同研究2件、地域防災実践型共同研究5件、萌芽的共同研究4件、重点推進型共同研究2件、拠点研究6件、特定研究集会4件の報告である。一般共同研究及び萌芽的共同研究の参加者は172名、国際共同研究の参加者は62名、一般研究集会の参加者は938名、長期・短期滞在型共同研究の参加者は25名、地域防災実践型共同研究の参加者は41名、重点推進型共同研究の参加者は508名、拠点研究の参加者は121名、特定研究集会の参加者は602名である。また、これらの共同研究等の採択課題名は、防災研究所ニューズレターに掲載された。

新型コロナウイルス感染症の流行により一部の課題については、令和2年度内に完了せず、令和3年度に継続して実施している。

本研究所では、施設・設備のいくつかを所外研究者の利用に供している。それらの利用状況を本報告書の終わりに掲載した。